

【畑地帯総合整備事業 尾崎北部地区】

基盤整備を契機とした担い手の規模拡大と経営強化（茨城県古河市）

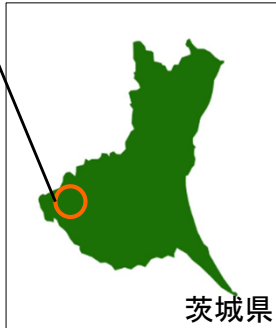
体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- 畑地かんがい施設の導入により、**品質・収量が安定し、営農効率が飛躍的に向上**
- 担い手への農地の集積・集約による**経営規模の拡大、農業所得の向上**
- 今後、霞ヶ浦用水利用の新たな利用可能性を検討するため、**高温障害対策の実証圃を設置**し、更なる高収益作物の導入を推進

【取組地域の概要】

おさき ほくぶ
尾崎北部地区



- 位置 茨城県古河市（特定農山村地域 ※旧三和町）
- 地区面積 55.7ha（畑 54.5ha、水田 1.2ha）
- 主要作物 レタス、にんじん、にがうり、とうもろこし、はくさい
- 主な支援施策
 - ・国営霞ヶ浦用水農業水利事業（S55～H20）
 - ・県営かんがい排水事業 霞ヶ浦用水Ⅲ期地区（H5～）

区画整理や畑地かんがい施設の導入による計画的な生産体制の確立

【整備前】

- **ほ場は狭小で不整形、道路は狭隘**なため農作業に多大な労力
- **排水路が未整備**のため、排水不良に苦慮しており、不安定な営農



狭隘な道路



農地の湛水被害状況

基盤整備
(H17年～)

【整備後】

- 区画整理や用排水路の整備により、大型機械の導入が可能となり**作業効率が大幅に向上**
- 畑地かんがい施設の整備により、**計画的な生産が可能**



整備された幹線道路



整備された排水路



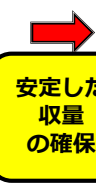
ニガウリへのかん水状況

営農効率の向上

計画的かつ品質・収量の安定した作物生産



畑かん施設の利用なし



安定した
収量の
確保



畑かん施設の利用あり

畑かん施設利用による営農効率の向上



動力噴霧器による灌水



かん水
時間の
短縮
70%縮減



畑かん施設の活用：チューブ灌水

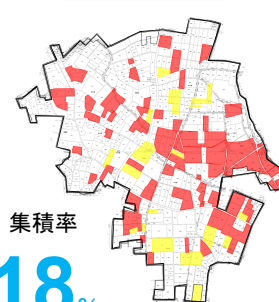
（出典：代表的な担い手からの聞き取り（R7））

農地の集積・集約化

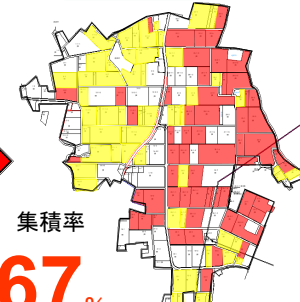
担い手への農地の集積・集約化の促進

事業前（H16）

現在（R7）



集積率
18%



集積率
67%

（出典：経営体育成促進事業実施状況報告書（R7）より）

■ 担い手所有地
■ 担い手賃借地

基盤整備を契機として農業所得が向上

